



YCS【ゆりコミュニティ・スクール】通信

第4号 令和5年3月10日発行

2月14日に第3回学校運営協議会が行われました。次年度に向けて、たくさんの御意見をいただきました。御参加いただいた委員の皆様ありがとうございました。今回の通信では、第3回学校運営協議会の様子と委員の皆様からの年度末アンケートについてお知らせします。

第3回学校運営協議会

今年度の各学部の取り組みについて

小学部：TDK野球教室、ブラウブリッツサッカー教室で交流し、野球やサッカーに興味をもつようになりまし。ボランティア人材バンクを活用しての英語教室や地域の朗読ボランティアによる読み聞かせ会も実施しました。地域の鶴舞小学校とは2回交流し、お互いに顔を合わせる事が大事だと感じました。

中学部：こけし作りや陶芸指導で地域の人材を活用しました。中学部1年生は高等部3年生とTDK野球場でクリーンアップと野球教室を行いました。地域の剣道指導者をお招きしての剣道教室は剣道に触れる機会になりました。浜ノ町町内会とのゆり花壇の整備は今後も続けていきたいです。

高等部：1年生は道川分教室との交流、2年生は萬生苑との交流、3年生は中学部1年生とTDKと交流しました。他学年、他学部との交流も定期的にも実施し、選択体育では卒業後の生涯学習を意識して、ヨガやボクササイズを行いました。

教育プランについて

令和5年度から9年度の学校教育プラン（案）の策定に向けて、具体的な目標や取り組みについて、学校長から説明がありました。

委員の皆様から

- ・将来の自立した生活に向けて、寄宿舎を活用できるとよいです。
- ・余暇活動をもっている人は職場定着にもつながっていることが多いので、学校でも生涯学習や余暇活動の充実を是非進めてもらいたいです。
- ・浜ノ町町内会では交流の場として菖蒲公園を活用を考えています。高等部の除雪活動にはとても感謝しています。
- ・子供が笑顔で生きていけるように、困ったときには周りに助けを求め、周りも手を差し伸べてくれる社会、そして地域との関わりを育める学校であってほしいです。



学校運営協議会委員の年度末アンケートより

(1) 学校運営協議会の活動内容について

【情報共有】

- 地域の方や、行政・各施設の方々の情報や意見・提案等を得られる貴重な機会だと思う。今後も続けて頂きたい。

【委員の構成】

- 由利本荘市では、福祉支援課長が出席されていて、にかほ市では福祉課長がその役職にあたると思う。にかほ市役所の福祉部局の方に入って頂いた方が良いのではないかと。

【学校支援の組織力】

- 学校の応援団であるべき学校運営協議会が、学校の負担になっていないか気がかりだ。評価だけでなく、果たして「学校支援の総合的な企画・立案」ができているのかどうか。

【学校・地域の課題解決】

- 様々な意見等が出るが、学校を主体としたものに関しては実践・振り返りができる。しかし、卒業後の意見に関しては、中々前に進めず、同じ事の繰り返しになっている事が多い。

【委員の活動】

- 委員全員集まっての座学協議以外に、学校活動に参加あるいは見学できることが可能な活動等があったらお伺いしたい。

(2) 熟議のテーマ「障害がある人の余暇支援～地域生活を円滑に営むために～」について（第2回学校運営協議会で実施）

【情報共有】

- 今年度の熟議では、小グループに分かれメンバーを入れ替えて行い、様々な意見や体験談を聞くことができとても参考になった。

- 様々な立場の方が参加されていて、とても意義のある活動である。

- 地域の皆様の交流の場、文化芸術を発信する施設を管理・運営している者として、児童生徒の皆さん、関係者の皆さんにどうしたらもっと御利用いただけるか、一緒にできることはないか引き続き考えていきたい。

- 熟議に参加したことで、当事業所として協力できることは何かを改めて考える良い機会となった。

【熟議の進め方】

- 熟議の途中に席替えがあり、コミュニティ・スクールの課題やその解決策等について、話が深まらない感じがある。「ワーキング・グループによる協議」になっているのかどうか。同一グループによる話し合いを深めることも必要ではないか。

- 学校関係、保護者、行政のみでなく地域の企業の参加があれば良い。

- 委員以外のメンバーを集める事で、より支援学校を中心とした輪が広がっていくのではと思う。



第1回学校運営協議会



高等部授業参観



第2回学校運営協議会「熟議」

(3) その他（自由記述～委員として学校に関わって良かったことなど）

- PTA会長として参加させて頂くからには、もっと他の保護者の方々のご意見や要望を聞く機会を設けなければと反省している。直接、学校や担任の先生方には言い辛いことがあったときに、PTAとして何か役に立てればと思う。

- 学校における具体的な活動内容を知ることができ、大変参考となった。こうした活動内容について、地域社会の情報発信を更に強化することにより、障害者理解、学校への理解が更に促進されるものと思う。当方でも地元企業などに対し、そうした情報発信の一端を担っていければと思っている。

- 学校に在籍している間は安心だが、卒業後の生活について本人や保護者にとって変わらず楽しいものであってほしい。学校間の交流が活発に行われることで、以前に比べ支援学校を身近に感じている市民が多い。行政として、各課で連携しながら地域の中で安心して楽しく暮らすことができる方策について話題にしてみたい。

- 障がい者支援事業所としての貴校との関わりとしては、卒業後及び卒業に向けての見解になるが、関わりの中で感じる気付きに留意し、微力ながら尽力に努めたい。

- 一日も早く、また児童生徒の頑張りを直に見られる日が来ることを願っている。

- 市在職中は、いろいろな活動（歩道の除雪、プランター苗の育成・設置）に御参加・御援助いただいた。コロナ禍でここ数年は、地域との交流が出来ない状態だったが、出来る所から少しずつ交流活動できる機会が増えるよう考えていきたい。